

企業内における安全衛生委員会の機能の在り方について（検討用データ集）

以下のデータの出典：平成10年度 総合的な安全衛生管理手法の調査検討／中央労働災害防止協会
 ※調査概要 調査対象：労働基準局長表彰事業場のうち、平成9年度の労働衛生表彰、平成10年度の安全表彰の対象事業場及び関係団体の推薦事業場を加えた893事業場
 回答数：409事業場（回収率45.8%）

1 安全衛生委員会の活発／不活発状態の状況について

・「活発」と回答した事業場は24%。

活 発	141 (24.4%)
普 通	227 (55.5%)
不活発	35 (8.6%)
N/A	6
計	409

・「活発」と回答した事業場と、「不活発」と回答した事業場の特徴は以下のとおり。

【安全衛生委員会の機能】

	調査	審議調整	労働者の意見聴取	労働者のチェック	意志決定	実行	その他
活 発	53.2%	83.0%	61.0%	80.9%	68.8%	53.2%	2.1%
不活発	25.7%	62.9%	45.7%	85.7%	42.9%	28.6%	0%

【構内協力企業の参加】

	委員会に参加	下部組織に参加	参加していない	その他
活 発	22.0%	16.3%	43.3%	21.3%
不活発	11.4%	5.7%	71.4%	8.6%

【議長の属性】

	事業場トップ・総務安全衛生管理者	前記に準ずる者	安全衛生担当部署の長	その他
活 発	70.2%	16.3%	6.4%	7.1%
不活発	64.7%	14.7%	8.8%	11.8%

【議長の出席】

	必ず出席	時々代理出席	ほぼ代理出席
活 発	85.8%	13.5%	0%
不活発	71.4%	22.9%	5.7%

【年間開催回数】

	13回以上	12回	6～11回	1～5回
活 発	6.4%	87.9%	2.8%	0.7%
不活発	0%	51.4%	25.7%	22.9%

【議題の提案者】

	トップ	総務安全衛生管理者	安全管理者	衛生管理者	会社側委員	労働側委員	産業医	労働者代表	その他
活 発	16.3%	45.4%	50.4%	50.4%	29.1%	37.6%	16.3%	56.0%	10.6%
不活発	8.6%	22.9%	31.4%	28.6%	25.7%	25.7%	5.7%	48.6%	17.1%

【発言者】

	ほぼ全員発言	限られた委員が発言	委員の発言ほとんどなし
活 発	72.3%	25.5%	1.4%
不活発	34.3%	48.6%	14.3%

【合意事項の実施率】

	~10%	~20%	~30%	~40%	~50%	~60%	~70%	~80%	~90%	~100%
活 発	0%	0%	0%	0%	0.7%	0.7%	4.3%	14.9%	23.4%	54.6%
不活発	0%	2.9%	2.9%	2.9%	5.7%	11.4%	14.3%	25.7%	17.1%	11.4%

2 安全衛生委員会の活性化が必要な理由について（災害の防止につながるのか）

- ・「大幅減少」または「減少傾向」と回答した事業場の割合は、「活発」な事業場が65.3%、「普通」の事業場が51.1%、「不活発」な事業場が42.9%と、安全衛生委員会が活発な事業場ほど、労働災害の減少傾向が強い。すなわち、労働衛生委員会の活発化は労働災害の減少につながるという傾向が示されている。

【活発度別の労働災害発生状況（過去5年）】

	大幅減少	減少傾向	横ばい	増加傾向	大幅増加	発生ゼロ
活 発	29.1%	36.2%	26.2%	2.1%	0%	4.3%
普 通	15.4%	35.7%	40.5%	1.8%	0%	5.7%
不活発	14.3%	28.6%	48.6%	0%	2.9%	0%

3 安全衛生委員会の活性化のために効果的な方策について

- ・安全衛生委員会が「活発」と回答した事業場が、活発化のポイントとして挙げたのは、多いものから以下のとおり。

① 安全意識	10.6%
② 全員参加	10.6%
③ 委員の認識	9.2%
④ 改善実施	9.2%
⑤ トップの意識	7.1%
⑥ 自由な発言	6.4%
⑦ 脱マンネリ対策	5.7%
⑧ ラインの意見重視	5.0%
⑨ 定期的開催	5.0%
⑩ 議題の選定	4.3%
⑪ 労使協調	4.3%
⑫ 事務局のセンス	2.8%
⑬ 安全衛生教育	2.8%
⑭ 職場巡視	2.8%
⑮ フォローアップ	2.8%
⑯ 明確な方針	2.8%
⑰ 資料の事前配布	2.1%
⑱ 管理システム	2.1%
⑲ 管理者の意識	1.4%
⑳ 計画的運営	1.4%